



6月第1例会



お・か・しの心を伝えよう
～思いやる心・感謝する心・信じる心～



指導力開発講座～剣禅一如～



勉強会「今こそ、一つに！」
～ブロック大会開催地立候補～

6月27日(金)19:30～21:06

指導力開発委員会

6月第2例会「指導力開発講座～剣禅一如～」

於：光行寺



指導力開発委員長
荒木 健

新会員3名が入会し、1ヶ月少々で1名が転勤退会となり、慌しく活動を始めて半年が経ちました。この半年間で様々な事業や行事に参加させて頂き少しずつJCに慣れて来ているように感じております。

本年度、指導力開発委員会は、何事にも直向きに活動するという信念をもって活動しております。直向きな活動をするということは、地域社会から常に見られる立場にあり、どのような状況においても、地域を牽引するリーダーとして、恥ずかしくない立ち居振舞いが必要不可欠になります。その為には、礼法・作法を確りと身に付けて頂きたいと思い、指導力開発講座～剣禅一如～を開催させて頂きました。

新会員自らがトレーナー役となり、この事業を一から事業構築し、準備・練習を行いました。事業の1ヶ月前までは自信もなく、台詞も覚えられませんでした。しかし、早朝から深夜までと、空いている時間

での積み重ねてきた練習が自信となり、事業当日は堂々とトレーナー役を務められたと思います。

新会員がこの事業を終え、一つの事業を行うことの大変さや大切さ、人と人との関わりの難しさ、壁を乗り越えた時の達成感を得られたと思います。また、新会員の姿を通して、メンバー全員が会員としての資質が高められ、意識も向上したものと確信いたします。

最後になりますが、講座にご参加頂いたメンバーの皆様心から感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。



「指導力開発講座～剣禅一如～」を終えて



私はこの指導力開発講座を終えて、二つのことを強く感じています。

ひとつめは、事業はひとりの力では成し得ないということです。指導力開発委員会のみならず、他の委員会メンバーの皆様にも有形無形のご支援を頂きましたが、それがなければこの事業の達成はな

かったと痛感しています。

もうひとつは、この事業を通じて、同期の三谷君との距離がぐっと近くなったことです。

1月の入会以後、これまで様々な事業と一緒に参加をしてきましたが、残り2週間を切ってからの早朝・深夜の練習を経て、今まで以上にお互いが分かりあえたのではないかと感じています。

先輩方には、やっと「新会員」の肩書が取れたと言われていますが、まだまだ若輩者です。今回の経験から、先輩方の事業構築の仕方を今まで以上に勉強させて頂きたいと考えております。

最後になりましたが、ご支援下さった皆様、本当に有難うございました。

(指導力開発委員会 小中 弘幸)



初めての事業を終えて、私が何よりも強く感じたのは、メンバーの皆様の温かさでした。事業に向けての練習をしておりますとメンバーの方々が、その練習場所まで足を運んでくださり差し入れやアドバイスをいただきました。事業の最中では、緊張をして覚えていることも忘れてしま

ったり、上手に説明ができなかったりと内容としては良くなかったかと思いますが、その時のメンバーの皆様は大変厳しい顔はされておりましたが、目の奥では大変温かいものを感じることができました。

また、この事業は自分だけでは前に進むことができなかったと思います。同期のメンバーがいたからこそ成しえることができました。私に欠けている部分を全て補ってもらいました。そして、今まで以上に交流を深めることができたと感じております。

最後になりますが、この事業を通して関わっていただきました全ての皆様に感謝を申し上げます。本当に有難うございました。

(指導力開発委員会 三谷 順也)



お酒の注ぎ方を学ぶメンバー



トレーナー役を務める新会員



名刺交換を学ぶメンバー

6月

美徳教育継承委員会

お・か・しの心を伝えよう～思いやる心・感謝する心・信じる心～

於：豊岡市内の中学校

先月開催させていただきました豊岡南中学校、出石中学校、日高西中学校に引き続きまして、今月は城崎中学校、日高東中学校、近畿大学附属豊岡中学校にてお・か・しの心を伝えよう～思いやる心・感謝する心・信じる心～を開催させていただきました。

ナヴォイ劇場や東日本大震災でのエピソード映像や、あいさつなどの事例を通じて、あたりまえのことをあたりまえにする事の大切さを中学生に伝えさせていただきました。また、地域で働く青年へのインタビューではLOMメンバーより、学生時代の思い出や社会人として必要なことなどを熱く語っていただきました。

生徒さんからは一生懸命話を聞こうとする姿勢がひしひしと感じられ、素晴らしい雰囲気の中で授業を行うことができました。この授業が5年後、10年後に生き続けるためにも、まずは我々大人が率先して行動していきたいと思ひます。

最後になりますが、校長先生をはじめとする先生の皆様、教育委員会の皆様、アドバイス頂きました先輩諸兄、LOMメンバーの皆様など、多くの方々に多大なるご協力を賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。

(美徳教育継承委員長 山崎 憲一)





日々、熱い想いをもって活動するJCメンバーの躍動感をお伝えすべく、躍動と題しまして色々な角度から特集させていただきます。其の五として、LEGEND OF THE JCと致しまして、初代専務理事を歴任され、現在も各事業はもちろん、じゃがいもクラブ等、我々現役メンバーとの接点を多く持ってください岡田先輩よりインタビューを頂戴して参りました。

LEGEND OF THE JC

広 報》専務理事という役職が出来た経緯を教えてください。

岡田OB》専務理事という役職は当時、神戸などの大きなLOMにはあったが、まだ一般的に定着していなかった。豊岡JCはそのころ会員数が80人程になっていた。そこで、導入するべきかという論議がなされたが、豊岡の場合は『総務委員長ありき』で、必要ないとされていたが、中山歴代が理事長をされるときに今後のことを考えて専務理事を置きたいという



強い要望があり設置することに。その際に、専務理事の選考には、総務委員長と副理事長経験者から選んでほしいという事で、即座に私が選ばれました。

広 報》専務理事となられて、どのようなことを心掛けておられましたでしょうか。

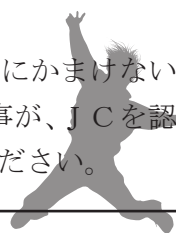
岡田OB》これをしないとイケないということを決めてしまったら動きにくくなるので、総務委員長にはLOMの統制をとっていただき、専務理事としては対外LOMや県などといった外との関係をおもに対応し、この一年で自分が感じたことを次に送っていくことと、理事長と総務委員長の仕事を少しでも軽減できるように、内では常に悪役になりながら努めていました。

広 報》JC生活で最も印象深いことを教えてください。

岡田OB》やはり、総務委員長になってJCのすべてを学んだことです。みんなの助けで一年終わって男になったと思いました。充実感が一番大きかったと思います。もうひとつは、創立30周年記念事業で、27名の中学生を全州にホームステイさせました。まさに色々な人の思いと力が集結した一年間でした。私にとってはJCの集大成です。そして、多くの腹心の友を得ました。

広 報》最後に、現役メンバーにメッセージをよろしくお願い致します。

岡田OB》JCを一生懸命する人は、仕事も地域活動も一生懸命にしたいと思います。JCだけにかまけないで、バランスよく取り組んでください。JCで学んだことを会社や地域に活かす事が、JCを認知してもらえる一番の早道です。そして友と切磋琢磨して、一生の親友を作ってください。



5月28日(水)～6月1日(日)

G T S 2014 in Myanmar

於：ミャンマー

5月28日(水)～6月1日(日)にかけて、公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会が主催するG T S 2014の事業を行いました。

今年から開催国がミャンマーとなり、まずはパートナー探しからはじまり、現地視察を2回行い、この国でビジネスを興すにはどうすればよいのか、また参加される110名のメンバーに気づきを得てもらうことを考えて、事業構築していきました。事業の方では、水道も電気もないユアディジ村での社会貢献活動、ヤンゴン市内をフィールドワーク、アクションプラン発表会等、中身の濃い充実した5日間でした。

(近畿地区協議会グローバル経済推進委員会
副委員長 小林 博文)



6月13日(金)18:30～21:29

総務委員会

6月第1例会

於：但馬空港ターミナルビル多目的ホール

6月13日(金)に但馬空港ターミナルビル多目的ホールにおいて、6月第1例会を開催しました。

講演では但馬信用金庫企業支援部企業支援課より森本耕治氏、川上晃弘氏の2名をお招きし、「金融機関から見る企業の経営リスクと事業承継」というテーマでご講演頂き、地域経済を担う青年経済人として我々が自らの事業を継続していくことが地域の活性化を支えるとして、そのために経営に潜む問題点や事業を継続していくための心構えをお話しいただき、しっかりと将来



を見据えた経営を考える機会となった。また、例会中には選考委員会選挙が行われ、秦選挙管理委員長をはじめとする選挙管理委員会により限られた時間の中でスムーズかつ公正に集計していただき、選考委員が選出されました。

今回も一般社団法人豊岡青年会議所らしい引き締まった例会となりました。
(総務委員長 大将 伸介)

6月23日(月)19:30～22:08

総務委員会

勉強会「今こそ、一つに！」～ブロック大会開催地立候補～

於：豊岡水道会館2階 大会議室



第49回ブロック大会開催地立候補へ向け、勉強会「今こそ、一つに！」～ブロック大会開催地立候補～を開催しました。ゲストとして、一般社団法人尼崎青年会議所より第44回兵庫ブロック大会2011年度大会実行委員会委員長をされた井田佳宏君と一般社団法人篠山青年会議所より第45回兵庫ブロック大会2012年度大会実行委員会委員長をされた園田真也君をお迎えし、また一般社団法人尼崎青年会議所より1名、一般社団法人篠山青年会議所より2名のオブザーバーの見守られる中で勉強会がスタートしました。勉強会が進行するにつれて、LOMメンバーからブロック大会開催についての様々な疑問や意見が出されると、ゲストからは貴重な体験からの回答を頂くなどの活発なやり取りが行われました。この勉強会によってブロック大会についての認識がLOMメンバーに共通のものになり、より一丸となりブロック大会開催地立候補へ向かえるようになったと思います。

(総務委員会副委員長 池内 資倫)

■ 事業案内 ■

■サマーコンファレンス

日 時 7月19日(土)～20日(日)
場 所 横浜赤レンガ倉庫 他

■8月第1例会

日 時 8月8日(金)18:30～20:30
場 所 但馬空港ターミナルビル多目的ホール

■臨時総会

日 時 8月8日(金)20:30～
場 所 但馬空港ターミナルビル多目的ホール

■編集後記■

「どっこいしょ」
山開きとともに、夏山のシーズンとなりました。テレビ等で行者が「六根清浄 お山は晴天」とかけ声をかけながら、富士山を登る様子をご覧になったことがあるかと思います。
この「六根清浄」という仏教語がなまったものが、立ったり座ったりする時についつい言ってしまう「どっこいしょ」の語源であると言われていることをご存知でしょうか。
六根とは、私たちの眼・耳・鼻・舌・身・意の働きを指しており、清浄とは、清らかになる、澄ませるという意味になります。眼は不浄を見ない、耳は不浄を聞かない、鼻は不浄を嗅がない、舌は不浄を味あわない、身は不浄に触れない、意(心)は不浄を思わない、つまり身も心も清らかになることを祈念して唱えられた言葉が「六根清浄」であります。
ふだん何気なく使っていましたが、単なるかけ声ではなかったようです。これからは、胸を張って使えるのではないのでしょうか。
(広報委員会)

発行日：平成26年7月11日 発行所：一般社団法人豊岡青年会議所
住 所：豊岡市幸町6番35号 編集発行人：広報委員会
TEL：0796-22-4041 印刷：広報委員会